

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
令和7年度 第36回白河市勉強会

日 時 令和7年6月9日(月)、10日(火)
場 所 ㈱楽市白河、中心市街地一帯
協 力 白河市、白河商工会議所、株式会社楽市白河
一般社団法人未来の準備室

令和7年6月9日、10日(火)の2日間、本連絡会議の幹事、株式会社楽市白河様のご協力のもと、「都市機能の回復を目指したマンション整備経営と歴史資源を活かしたまちづくりを学ぶ」と題し、第36回白河市勉強会が開催されました。
東北地方での開催は、2015年の岩手紫波町、2017年の青森八戸市に続き、3か所目の開催です。
また大河ドラマべらぼうに登場する松平定信公は陸奥白川の藩主であり、民の生活に重きをおいた政策など名声を高め、南湖公園、和菓子づくりなど、地元での人気の高さが伺えました。

勉強会1日目(6/9)



㈱楽市白河 代表取締役社長 藤田 龍文様

勉強会1日目は、株式会社楽市白河の活動拠点マイタウン白河にて行われました。開会にあたり、株式会社楽市白河 代表取締役社長 藤田様よりご挨拶をいただきました。
白河市は、東北の玄関口としての地理的優位性と、高速交通体系も整備され、製造業を中心に工業生産が県下トップであり、それらに従事する居住者が増加した一方、歴史・文化資源を商業の魅力として活かしていきることが課題であるとのことでした。課題解決に取り組むながら、周辺の観光ポテンシャルは高く、隣接する那須、会津と協定を結び、エリア全体で観光・宿泊・体験などソフト事業系の盛り上げ策を講じていくことが今後の会社の方針とのことでした。



白河市 建設部まちづくり推進課
課長 渡邊 正俊様
主任主査兼まちづくり推進係長 真田 和幸様

真田様：平成11年策定の中活計画も昨年第4期を迎え、行政、まち会社、商工会議所が明確な役割分担とその取組について説明をいただきました。特に駅前に整備した図書館は3万冊のマンガ蔵書で特徴付け、人口5万5千人のまちで年24万人の利用があるそうです。
田鍋様：歴まち法の支援を受け、歴史・伝統・文化をいかしたまちづくりについて説明いただきました。田鍋様は小峰城のVR、SHOZO CAFE もご担当とのこと。



白河市 建設部まちづくり推進課
主任主査兼歴史まちづくり係長 田鍋 和彦様

小針様：ご担当2年目ながら、中活での役割、創業支援・商店街活性化など商業の活力向上の取組について説明いただきました。
長倉様：民間視点での活性化事業の取組として、売上、客数、入居者数、投資と収支状況、問題課題など詳細にわたる情報を開示いただき、大変参考になりました。



株式会社楽市白河 長倉 智和様

白河市、白河商工会議所、㈱楽市白河という中活の主体三者様の説明から感じたことは、目標に向けた共通課題・認識をもち、その連帯感の強さをベースに、実現に向けたスピード感、実行力には大変驚かされました。皆さん、思う成果にはまだまだと仰っていましたが、今回の勉強会、視察は大変刺激を受けるものになりました。ここで紹介できない、スポーツのモルック、白河かるた等相当量の情報いただきました。(右：藤田社長の隠れ家での三次会)



勉強会2日目(6/10)



二日目は白河市の中心市街地、周辺を視察。
-小峰城-
総石垣づくりの奥州関門の名城。定信時代の小峰城を学べる3面VRシアターはとてわかりやすく必見です。東日本大震災で石垣が崩れた際、江戸時代の伝統工法で復興した実績は、熊本城の再建にも白河の技術が生かされたようです。



”中道小道楽蔵”

”旧脇本陣”蔵屋敷”



-歴史的風致形成建造物、まちなか施設-
「楽蔵」歴史的建造物を活かし不足業種の補完、回遊拠点と集客装置として整備。ビアガーデンや台湾夜市など、市民の楽しみの場としても活用。
「蔵屋敷」旧脇本陣柳屋旅館を整備し、地元企業、住民と連携し白河市の歴史を感じてもらうための取組を展開。この他、行政と連携し、白河駅の改装とえきかふえ運営など100棟を超える歴史的風致形成建造物と保存修景事業や、それらを巡る文化遺産ツアーやシンポジウムなどを展開。



一社)未来の準備室理事長 青砥 和希様



コミュニティカフェ”EMANON”

-まちのキーマン 青砥和希氏-
EMANON は、名前のない(逆読み)場所として高校生びいきの古民家カフェ。運営する青砥さんは、高校生が主体の、さすが、あつまる、やってみるをテーマに、白河の良さを体験記憶する活動を支援されています。

南湖公園”翠楽園”



“南湖神社”



“SHOZO CAFE”



-南湖公園-
誰もが楽しめる場「土民共楽」として松平定信が築造した人造湖。公園あり方の基礎になったとも言われています。
定信を敬愛する渋沢栄一が創建した南湖神社。
エリア一帯は歴史の趣きを感じる姿と、現代のオシャレが調和する市民の憩いの場です

-SHOZO CAFE-
行政主体で活性化の起爆剤として誘致した SHOZO CAFE。東京、那須でも有名な同店は新たな人と消費を呼び込み、更に公園全体の整備促進やお洒落なテナント出店が続くなど、その波及効果には目を見張るものがあります。



-白河の美味しいもの-
銘菓大黒屋の新商品「定信」、玉屋の「鳥羽玉」「翠雨」をいただきながらの座学です。美味しい！
市内に100軒近くある白河ラーメン店から、オススメの「あずま食堂」醤油ラーメンを御馳走になりました。このほかにも、南湖公園の名物のお団子をお土産で頂戴し白河の美味しいもの堪能です。